

部長挨拶

部長 岡本 温

今期二年間のうち、1月で半分終わったかと思ったらもうこの原稿を書いているのが8月です。あと5ヶ月となってしまいました。1月の能登空港呈茶にはじまり、総会、支部の初茶会や金沢市伝統工芸展など、総持寺での献茶の手伝い、沢山の行事がありました。私としては会員の皆さんに少しでも顔を覚えて頂けたかな？少しは会員さんの顔を覚えられたかな？と思っています。

この後も金沢での茶会、白山室堂呈茶、千代女茶会や穴水での宮崎寒雉茶会とまだまだ行事が続きます。会員の皆さんには、一度でいいので行事に参加してみたいかですか？きっと楽しいと思って頂けるようより良い行事にしていきたいと考えています。

また、先生方には茶会などで青年部活動や魅力を理解して頂き、青年部会員増強にご協力と益々の御指導賜りたいと思っております。

教養講座

第1回教養講座

4月6日(日) 石川県女性センター調理室参加者数62名(内会員60名)

午前中に点心作り講座、午後にお菓子作り講座を行いました。試食をしながら意見交換を行いました。



瞬間にできあがってしまう手つきに皆、釘付け。



思っておい味の主菓子と干菓子を作る様子は真剣そのもの。

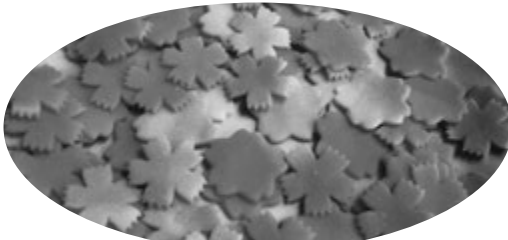


洋風の献立で作った点心は、いつもと違う味わいに新たな発見がいっぱい。

大勢の仲間と楽しいひととき 教養委員 金田 直子

私は教養講座に参加したくて教養委員会を希望しました。希望叶って委員になり昨年のガラス茶碗作り、点心作り、今回の和菓子及び点心作りに参加出来ました。昨年も今年も点心作りには参加者が多く、少し戸惑いましたが、同じ班になった方達がとても感じ良く感謝でした。年上の私としては、若い力にパワーを分けてもらった気分でした。

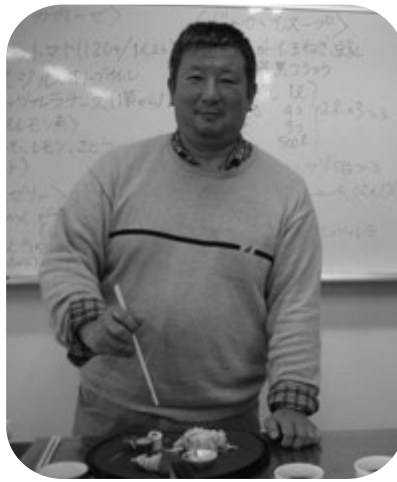
和菓子は自分で作った物をお土産に出来、また点心作りでは各班で作った物を点心用に並べ、昼食に食べて来ました。一石二鳥で心もお腹も満足でした。楽しい一時をありがとうございます。



桜に型抜きをした干菓子も満開。



美味しい料理に満面の笑顔。



呈 茶

第70回金沢市工芸展

2月26日(水)～3月3日(月) めいてつエムザ8階催事場参加者数 1504名(内会員71名)

芸術院会員から一般市民まで、また、陶磁・染・織・漆など幅広い分野の公募展である金沢市工芸展。呈茶席では地元作家のお道具でお点前をさせていただきます。年が明けて最初の行事でもあり、工芸展がデビュー戦という方も多いのではないのでしょうか。

今年も6日間にわたり初心者からベテランまで協力して多くのお客様をお迎えしました。

緊張と喜びと！

奉仕・地域交流委員 田中真弓(新入会員)

青年部に入会し、初めての行事が、金沢市工芸展呈茶でした。諸先輩方のアドバイスやフォローをいただき、いざ、お点前へ。緊張が伝わったのでしょうか。正客席から、「大丈夫よ～♪」と声援が。この一声が心に響き、緊張の糸が解け、お道具の説明に耳を傾けられる余裕も。

また、お客様にお菓子やお茶をお渡しする際に起きるわずかな交流が嬉しく、一席、一席がとても楽しく、大変勉強になる時間を過ごすことができました。感謝。



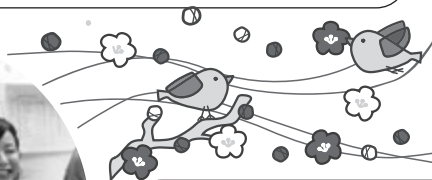
毎年、金沢市長が書かれたお軸が掛けられます。



初めての行事も緊張から笑顔に



水屋では休む間もなく茶筌を振る場面も...



ものづくりの奥深さを体感

茶会委員 小荒麻由美(新入会員)

初めての青年部活動に、会場に来られたお客様をおもてなしすることに慣れていないこともあり、緊張致しましたが青年部の方々がとても親切に教えてくださったので和やかな中で参加することができました。

今回は、お運びのお手伝いをさせて頂き、直接作家の方々の作品を目にし、手に取ることが出来たのは貴重な体験でした。実際そのお茶碗で多くの方にお茶を楽しんで頂き、飾られているだけではなく、道具として使うということを改めて実感し本来の物造りの奥深さを感じました。

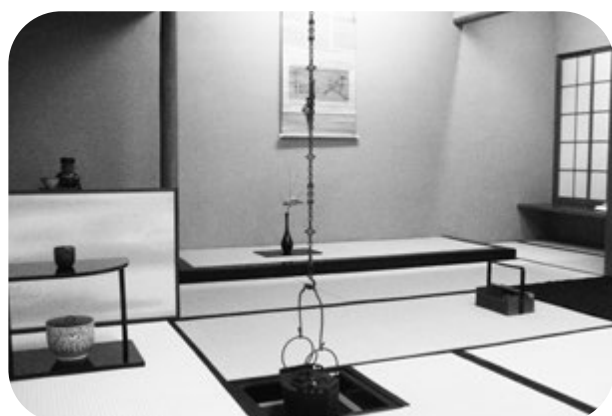
また、その一服のひとときに人とのつながりも感じられ、感慨深く思えた一日でした。ありがとうございました。



竹 溪 会

3月15日(土) つる幸 参加者数 13名(内会員6名)

竹溪会は石川県内の茶道愛好者9名で構成され、2ヶ月に1回茶会が開催されています。数寄者の方のご好意で石川青年部も参席させていただいております。「早春」をテーマに、一足早い春を感じて頂けるよう取り合わせをいたしました。



主菓子の銘は、弥生の空(吉はし製)



呈 茶

白山比咩神社

2月2日(日) 白山比咩神社 参加者数 150名(内会員9名)

1月を除く毎月第1日曜日、白山比咩神社では参拝に来られた方々へ呈茶が行われています。2月は石川青年部がご奉仕させていただきました。

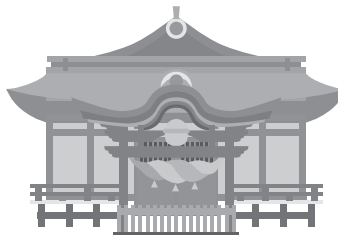
初めての呈茶

奉仕・地域交流委員 島影歩

白山比咩神社にて、ご参拝にいらした方々にお菓子とお茶を振る舞いました。

私にとって初めての呈茶の行事でしたが、諸先輩方の水屋での働きぶりやお点前、お客様との会話等、多に学ぶことがあり、とても貴重な経験をさせていただきました。中でも初見のお道具でもお客様に説明出来る見識や、お子様には少し薄めのお茶を用意する心配りを身につけたいと思いました。

呈茶の後はお祓いをしてもらい、白山比咩神社の荘厳さを感じることができ、大変実りあるお茶会でした。



七尾月釜

4月20日(日) 七尾市 本龍寺 参加者数73名(内会員13名)

毎月第3日曜日に流派を問わず、社中や先生個人でお釜をかけています。今年もお声掛けをいただき、石川青年部として参加させていただきました。



人柄を感じながら呈茶しました 副部長 渡辺大輔

春曇りのなか、七尾市の本龍寺月釜を担当しました。

先月の竹溪会で用いた道具を主体に使い、釣り釜の出船や、桜の蓋置をきっかけにして、お客様と話に花を咲かせることができました。初対面同士であっても、和やかに時間を共有できる茶道って素敵ですね。

七尾近隣在住の会員を中心に、水屋、運び、点前を分担。失敗を励まし合ったり、水屋の中でお茶を勧め合ったりと、手伝いを通じ、お互いの人柄も感じられてよかったです。

能登空港呈茶

のと里山空港をご利用になる方へお茶と季節のお菓子を楽しんでいただいています。

1月19日(日) 参加者数200名(内会員5名)

空港隣の航空学園石川の男子生徒4人が半東をしてくれました。



3月2日(日) 参加者数211名(内会員7名)

ひな祭りの趣向で設えました。県立輪島高校茶道部員とともに。

5月4日(日) 参加者数620名(内会員7名)

のとキリシマツツジフェスティバルの開催とともに。

茶

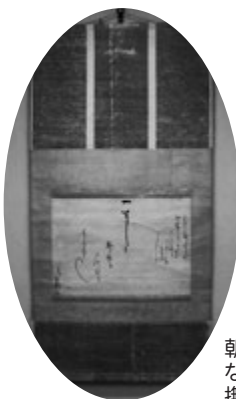
千代女茶会

5月31日(土) 千代女の里俳句館 参加者数100名(内会員10名)

白山市合併十周年記念事業として、「加賀の千代女」にちなんだ「千代女茶会と落語鑑賞会」が開催されました。



床には千代女の句が書かれたお軸。
「一すじに ゆりはうつむくばかりなり」



朝鮮通信使団が被る笠のような形の唐人籠に山アジサイや撫子が涼しげに。

脇床には朝鮮通信使絵巻(のぼる画)
千代女は加賀藩10代藩主前田重教の命により朝鮮通信使に句を贈り国際交流に貢献。



千代女の代表句

「朝顔や 釣瓶とら
れてもらひ水」

千代女 12歳の頃、
美川・本吉の北湯屋
半睡に弟子入りし
通った。

水は美川・大浜ノ水。



富士を白山に見立てて...



菓子の銘は「清水」

「山の裾 野の裾結ぶ 清水かな」

緑、青、白は白山、手取川、水を表わし
瑞々しく優しい彩り。

一期一会を感じた一日

幹事 東 亜紗美

今回のお茶会は、作家で千代女の里俳句館名誉館長の安部龍太郎さんが席主をされ、安部さんと縁のある方が各席正客をされていました。お道具は一緒でも、毎席違う雰囲気のお席に一期一会を改めて感じ、お手伝いをしている、とても楽しかったです。

また、「加賀の千代」「茶の湯」という落語を聴くことができましたが、自分に馴染みのある演目だったので聴きやすく面白かったです。

お席が終わった後には安部さんが、ご自身が習われている藪内流のお点前を披露して下さいました。他の流派のお点前はあまり見る機会がないので、非常に興味深いものでした。

このような貴重な体験ができた会のお手伝いをさせていただいて、有り難く思います。



ふるさと館では落語家の春風亭華柳さんによる「加賀の千代」「茶の湯」の2題を上演。身ぶり手ぶりのお話しに会場が湧きました。

わんぱくフェスティバル

5月5日(月) 子ども交流センター
参加者数159名(内会員9名)

毎年こどもの日に行われているわんぱくフェスティバルにて、子供の日ならではのお茶会を楽しんでもらいたいと、今年は新幹線をモチーフにしたお菓子を用意しました。

子どもたちやご家族連れなど幅広い年齢層の方に気軽にお茶に親しんでいただきました。



呈 茶

銭 五 茶 会

5月11日(日) 銭屋五兵衛記念館 参加者数416名(内会員16名)

毎年開催されている銭五茶会。銭五の館では本席の席主を南川宗和先生がされ、石川青年部は銭屋五兵衛記念館にて野点席を担当させていただきました。



お客様をお迎える受け付けは
いつも笑顔!



銭屋五兵衛銅像



強風にドキッ。



藤色の生みがキレイ(吉はし製)

お天気に恵まれた野点席 教養委員 南代香織

今回、青年部の銭五茶会に始めて参加しました。

外で立礼をするということで、天気は大丈夫かな?と心配だったのですが、風が少し吹いていたもののお天気に恵まれ良かったです。

2回お点前させていただきましたが、何度か間違えてしまいました。途中、強い風が吹き、茶筌が飛んでいくというハプニングもありました。

お点前を終える度に「ああ、やっと終わったあ!!」と、ホッとしました。至らないところがたくさんありましたが、皆さんにカバーして頂きなんとか乗り切ることができました。

ありがとうございました。



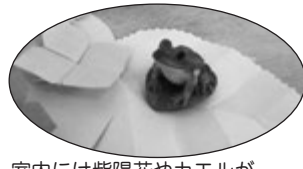
お道具の説明に皆さん興味津々

子どもお茶を楽しむつどい

6月29日(日) いしかわ子ども交流センター
参加者数96名(内会員14名)

子ども達にお茶の楽しさや、お茶を身近に感じて欲しいと続いている行事です。今年は奉仕・地域交流委員会だけでなく他の委員会と一緒に開催しています。

6月は「梅雨を楽しむ」をテーマに、お楽しみとして折り紙カエルジャンプ大会、カタツムリを模したお菓子など季節を取り入れた趣向や、毎回大人気の茶筌振り体験など子ども達に楽しんでもらえる行事となりました。



室内には紫陽花やカエルがいたるところに。今にも合唱がはじまりそう♪



折り紙で作ったカエルのジャンプ大会!

第6期 北陸信越ブロック研修チーム報告

◇第4回研修会 4月19日～20日(福井)

◇第5回研修会 6月22日～23日(京都)

研修チーム員：織田聡、勘田友恵、竹内詩央里、正村浩子、村井昂生

竹内 詩央里

第4回研修会の日程は、1日目に料理人でいらっしゃる小野谷ブロック副幹事長を講師にお招きしての懐石講習、2日目は宗家研修についての事前研修会と卒業茶会の打合せが行われました。

講習は、懐石についての説明からはじまり、それを踏まえ調理に臨みました。今回は一汁二菜の献立、そして「自分以外の相手のために作ろう」ということで3つのチームに分かれそれぞれ別のチームに食べてもらうために作りました。

炊きたてのご飯をお出しするためにお米を炊き始めるタイミングをはかるなど、熱いものは熱いうちに、冷たいものは冷たい状態だと、当たり前だけれど思いの外難しいことだと改めて感じました。

講習を通じ、もてなす側がお客様にどうしたら喜んでいただけるのかを考えて行動する、おもてなしの心に触れることができたように思います。

丹後 美幸

ブロック研修チームの宗家研修に参加させていただきました。

講義研修では懐石料理について、講師のたん熊の栗栖先生より季節毎のふさわしい食材や味付け、だしの取り方など具体的に学ぶことができました。宗家訪問では、憧れの兜門をくぐり、深い歴史を感じる数々のお茶室を拝見しました。また、金毛閣、聚光院と歴史上の逸話が残る地を拝観できた事にも感激し、利休居士の墓前で今後の精進を誓ってきました。

貴重な研修に参加させていただいたことに感謝しております。ありがとうございました。



平成26年度下半期行事予定

◆白山登山室堂呈茶	8月10日(日)～11日(月)
◇石川青年部 臨時総会	8月23日(土) 石川県女性センター
◆子どもお茶を楽しむつどい	8月24日(日) いしかわ子ども交流センター
◇青年部茶会	9月28日(日)
◆宮崎寒雉ふる里茶会	10月 5日(日) 穴水中居 明王院
◇千代女茶会	10月11日(土) 千代女の里俳句館
◆子どもお茶を楽しむつどい	10月26日(日) いしかわ子ども交流センター
◇卒業茶会	11月30日(日)
◆子どもお茶を楽しむつどい	12月21日(日) いしかわ子ども交流センター

※行事の日程は変更になることもあります。

発行責任者：茶道裏千家淡交会 石川青年部 部長 岡 本 温

編集責任者：広報委員長 伊 勢 香 織

広報委員：池田香織、岡田麻紗江、角田有香、河井利浩、楠尚子、後藤綾、下沢晶子、竹内詩央里、竹中久美、土橋優美子、戸出大輔、中村雅代、藤井梢、正村浩子、本穂波、宮本摂子、村井昂生、吉田美々、若宮隆志、和角陽子、

茶道裏千家淡交会青年部北陸信越ブロックホームページ

URL <http://www.hokurikushinetsu-seinenbu.org/>

「H25.26 青年部紹介」に各青年部の紹介ページがあります。



石川青年部 新入会員募集中!

「修練」「奉仕」「友情」が活動の柱

青年部には、

- ・目標に向かって努力する楽しさがあります。
- ・それを達成したときに共に喜び合える仲間がいます。
- ・新たな視点でお茶との関わりをもってみませんか。
- ・新しい出会いが、あなたを待っています。

..... 青年部会員の声

青年部ならではの行事は、楽しさと驚きがいっぱい!!



えーっ!



うんうん

よかった

青年部がきっかけで地域社会に貢献できたことが嬉しかったです。

いろんな人と知り合えたことが良かった!

なかよし。

たのしー。

いろんな人と知り合えたことが良かった!

ほーっ



にやるほど

みんなで作り上げていく楽しさと達成感

個人では経験できない体験ができたよ!

おもてなしの心を通じてお客様の笑顔を体感することができました!

感謝!!

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

ありがとうございました

..... 入会案内

【入会資格】

50歳までの裏千家茶道愛好者の方。

【入会方法】

推薦者(淡交会の正副支部長・支部顧問、終身正会員以上の教授者、学校茶道指導者いずれかの推薦を得てください。)を通じて、青年部の連絡事務所へ申し出ます。裏千家ホームページからも申し込みます。(http://www.urasenke.or.jp/)

【年会費】

25歳までは1,000円。

26歳以上は3,000円。

編集後記

・皆様の人柄のにじむ所感文や写真に様々な瞬間を知り、感謝です (かくだゆか)

・暑くてもお稽古は着物で通してみせます! 負けるものか~! (たけちゃん)

・毎日暑いですね。下半期も楽しく! (まーくん)